

令和6年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和7年3月31日時点)

施設名	港区立障害保健福祉センター						
指定管理者	社会福祉法人友愛十字会						
指定期間	令和 2 年 4 月 1 日 ~ 令和 12 年 3 月 31 日						
募集方法	公募	グループ化の有無	-	利用料金制の採用	○	使用許可権限の付与	-
施設所管課	保健福祉支援部障害者福祉課						

2 職員体制

(単位：人)

	正規			非正規			委託（シルバー人材センター等）	合計
	常勤	非常勤		常勤	非常勤			
職員数	94	94	0	21	0	21	0	115
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考	
正規・非正規職員の退職者数		13	14	12	17	15		

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
通所事業登録者数（人）	84	90	101	104	114	定員：生活介護50人、※令和5年度に40人から拡大 就労継続支援B型40人 放課後等デイサービス20人
講座・講演会参加者数（人）	719	946	1,132	1,089	934	
短期入所（人）	1,397	1,760	1,995	2,220	2,389	定員7人

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項目		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
経費実績	収入	875,532,093	1,056,614,004	1,118,980,833	1,191,395,461	1,245,484,080	
	指定管理料（清算後）	673,213,046	809,221,313	836,795,978	890,853,104	893,855,605	
	利用料金収入	199,030,545	243,673,102	275,642,911	284,756,231	320,529,153	
	その他収入	3,288,502	3,719,589	6,541,944	15,786,126	31,099,322	事業収入
	支出	875,532,093	1,043,041,387	1,099,630,353	1,157,094,297	1,210,946,394	
	職員人件費	441,998,440	520,051,141	545,303,956	594,415,279	647,716,334	
	光熱水費	40,886,134	45,319,410	59,927,018	52,172,318	51,274,436	
	修繕費	14,028,253	14,783,090	11,922,973	15,600,000	13,894,416	
	事業運営費	279,471,976	362,597,743	378,131,988	391,017,187	393,037,643	
	施設管理経費	91,894,290	93,037,003	97,091,418	96,636,513	97,770,565	
	その他経費	7,253,000	7,253,000	7,253,000	7,253,000	7,253,000	
	差引収支額	0	13,572,617	19,350,480	34,301,164	34,537,686	
年度協定書で定める指定管理料	707,743,997	843,850,939	843,125,852	895,265,550	893,988,871		

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価視点	指定管理者による評価	区による評価		
			評価	加算	点数
【施設の維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×1 5 / 5
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	5 / 5	5 / 5	×1 5 / 5
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×1 5 / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者の声を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	5 / 5	3 / 5	×5 15 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	5 / 5	3 / 5	×2 6 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	5 / 5	×1 5 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2 10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×3 15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	5 / 5	3 / 5	×1 3 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	5 / 5	5 / 5	×3 15 / 15
区による評価合計点					84 / 100

【各項目の評価について】

- 5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。
- 3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。
- 1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。
- ※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「－：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	<p>強度行動障害や医療的ケア、支援困難事例を多く受け入れています。短期入所では、年度内の緊急受入れ要請に全て応えました。新規希望者を受け入れ（工房アミ4名、みなとワークアクティ5名、放課後等デイサービス5名、自立訓練6名ほか）、定員増に向け区と協議を始めています。</p> <p>新たな取組として、延長事業における補食提供、売上の一部がフードパントリーへ寄付される製菓の販売会、呼吸器を使用した利用者の一日外出、小児高次脳機能障害相談会の定例化、成年後見制度の家族向け勉強会・個別相談会、「相談支援マニュアル 港区」の作成と区内相談支援事業所への配布などを始めました。防災対策として、徒歩参集帰宅訓練、緊急連絡訓練を実施したほか、港区障害者参加型防災訓練「みんなとバリアフリー防災」に全面的に協力しました。</p>
区（施設所管課）による評価	<p>障害者向けの複合事業施設として、事業計画に基づいた適正な運営がされました。国政選挙によるヒューマンがらぎまつりの日程変更や発達支援室の運営方法変更などで、区と連携して柔軟・適切に対応しました。施設運営上の課題として、アクティでは見守りカメラを、放デイではHUGを導入しました。令和4年度からの継続として、通所事業の時間延長や強度行動障害・医療的ケア・支援困難事例の積極的受入などに尽力しています。一方、短期入所など、利用者の受入れや安定的な支援のため、職員の欠員解消に向けた確保など早急な取組が必要です。安定した施設運営は行っているため、送迎バスや通所事業の利用者増などの課題に対して、区との共有に留まらず改善に向けた積極的な提案や主体的な取組着手を期待します。</p>

6 評価

令和6年度の管理運営に関する総合評価

A

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

- S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）
- A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）
- B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）
- C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）